

釧路南ロータリークラブ会報

第 28 回 例 会 報 告 2017.2.10 通算 1664 回

・点 鐘 長井会長

現場での打ち合わせ等はすんなり終わり帰ってこられ安心しているのですが、問題は往路でした。

・ロ - タリ - ソング

「我等の生業」



ソングリーダー 亀岡 孝会員

朝 5 時頃に釧路を出て、厚床を過ぎたあたりから、鹿が道路わきに出現しました。道路わきにいる鹿にびくびくしつつ運転していましたが、1 頭、2 頭と道路を横断していくこともあり、そのたびに止まらなくてはならないのでイライラが溜まってまいりました。そのとき頭に浮かんだのは、映画「マッドマックス」に出てくる暴走族の車についているごついバンパーをこの車につけて、出てくる鹿をかたっぱしから跳ね飛ばしたい衝動でした。こんな短気では、いつ事故を起こしても不思議ではないと思い反省いたしております。

皆様、運転の際には短気を起こさず安全運転してください。

・会 長 挨拶



皆様、こんにちは。

今朝、今日から現場が新しく始まるので、根室に行っていました。

・幹 事 報 告



- * 一般社団法人ロータリーの友事務所様より、2017-2018年度版ロータリー手帳お買い上げのお願いが届いております。回覧で回しますので、希望の方がおりましたらこちらで手続き致します。
- * 厚岸RC様より、2月の例会プログラムが届いております。

・本日のプログラム

「歴代会長卓話」

担当 ロータリー情報委員会

◆長江委員長



今日の卓話は歴代会長卓話です。1月20日に予定していましたが、佐藤会長がご逝去されましたので今日の例会になりました。

今日は高橋会員と長倉会員にお願いしましたので、高橋会員からお願いします。

◆高橋会員



将棋奨励会に史上最年少でプロ入りした藤井聡太氏の話をしてします。将棋奨励会には何百人もいるが、東と西から二人ずつしかプロになれない。

今までに中学生でプロになったのは、加藤、谷川、羽生、渡辺に続き5人しかいない。

藤井聡太氏は14歳2か月でプロになった。今までの記録は加藤一二三の14歳7か月で62年ぶりの更新だ。中学生でもプロになれば賞金をもらえる。

30歳を過ぎるとプロになれないので、30歳までに4段にならないといけない。

藤井聡太はデビュー戦で加藤一二三九段と対局して藤井聡太が対局を制しプロデビュー戦を勝利した。A級、B級、C級とあるが年間18回の試合があり最下位になるとCにも入れなく退会しなければならない。このようにプロの世界は厳しいものだ。



◆長倉会員



趣味はゴルフやギター演奏ですが、興味のある話という、遺伝子や進化の話です。なぜ興味を持ち始めたかという、ジャズサクソ奏者の坂田明という人が、ミジンコの研究をしている。ミジンコは全てメスだけど、例えば水たまりの環境が悪化すると突然変異でオスができ、オスとメスで生殖し子供を産むとクローンしか生まれてこない。それでオスが突然生まれることで新たな遺伝子を持った子供が生まれる。それによって特異性を持って悪化した環境から生き延びていくのです。自分がここにいることは先祖や両親がいてここに命がある。戦国時代はすごい時代だが、先祖はそこで生き延びてきているわけです。もっと遡ると今まで命が続いているわけですから、恐竜が地球にいたときにも自分の先祖が生きていた。昔は類人猿という時代もあった。さらにもっと遡るとネズミ見たいな哺乳類だったと言われている。最近遺伝子やDNAなどの化学が進むことでいろいろなことが解明されている。恐竜は変温動物で暖かい状態でないと動けない。日中は恐竜が動き回るのだから先祖の哺乳類は夜に活動していた。そのため動物は夜行性の動物が多くなっている。夜は寒いので爬虫類と同じように低温動物は寒くて夜に活動できないので、哺乳類は自分の体の中で熱を作れる

ようになった。進化して生き延びていくために遺伝子が我々にいろいろな作用して進化している。このような視点で人間や動物がどうやって生きていくのかなと見ていくと、世の中が面白く見えてくる。



・次回のプログラム

2月17日（金）

「職場訪問例会」移動例会

会場 鶴野支援学校 12:30～

担当：職業奉仕委員会

・点 鐘 長井会長

今週の会報担当：福井克美会員